

でも、患者さんの話を聞いて考えることなら、
いつでも、どんなときでも、誰にでもできます。

ここで解剖生理が頭に入っていれば、画像検査をする前から
異常のありそうな場所を思い浮かべることができます。

Chapter

2

胸部症状をわかるための 解剖生理